

授業科目 レクリエーション指導法

【担当教員名】 小田切 毅一	対象学年	1	対象学科	言語・文*
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】  
レクリエーション指導をするに当たって必要とされる、基礎的な方法論を学ぶとともに、現代生活で必要とされるレクリエーションの種々の機会に応用可能な、プラクティカルな実践に対処する能力を身につける

- 【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
1. 指導者に必要とされる指導能力、資質や能力について説明できる
  2. レクリエーションの企画・立案について基本的な説明が出来る
  3. ゲームや遊びの分類論に基づいて、それをグループワーク展開に活かした説明が出来る
  4. 周囲の人々を楽しませる、ゲーム指導に基本的なテクニックなどを発揮できる
  5. 軽スポーツを活用したチームワークづくりへの、実践的な対応ができる
  6. グループを動かすことや、参加者を楽しませることに関わって、基本的なリーダーシップがとれる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	指導法入門：名人芸不要の指導テクニック		
2	レクリエーション指導者：リーダー&ワーカー		
3	レクリエーションの企画・立案		
4	レクリエーションとその管理・運営		
5	レクリエーションのためのプログラム論(1)		
6	レクリエーションのためのプログラム論(2)		
7	グループワークのためのゲームの分類論		
8	ゲームを用いたグループワーク実践法(1)		
9	ゲームを用いたグループワーク実践法(2)		
10	ゲームを用いたグループワーク展開法(1)		
11	ゲームを用いたグループワーク展開法(2)		
12	新たなゲームづくりへの挑戦(1)		
13	新たなゲームづくりへの挑戦(2)		
14	<総括>レクリエーション指導法		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	授業に応じて適宜指示			
参考資料	宇田川光雄『ゲーム学入門：分類法と指導の実際』遊戯社 日本レクリエーション協会監修『やさしいレクリエーションゲーム』成美堂出版			
その他の資料				

【評価方法】 出席および小レポート（毎時間）：50% 期末テスト：50%	【履修上の留意点】
--	-----------

言語聴覚学科 専門